

## 規制改革会議農業ワーキング・グループ 現地視察報告

2014年4月24日

## 1 視察の概要

- (1) 日時：平成26年3月15日（土）10：00～17：00
- (2) 視察場所：都城農業協同組合（宮崎県都城市）、有限会社新福青果（同左）
- (3) 参加委員：（委員）浦野 光人、林 いづみ  
（専門委員）渡邊 美衡

## 2 報告事項

## (1) 都城農業協同組合

## ○組合員構成について

県内有数の農業地域ながら、准組合員数が正組合員数を上回る状況となっており、JA都城としては、准組合員＝地域住民による支援は今後の農協経営に不可欠であり、准組合員も大事にした経営を行っていくとのこと。

## ○JA出資型法人等について

## ・子会社による事業展開の状況

子会社4法人により、農産品加工、直売所運営等の6次産業化の取組みの他、農業経営にも参入。

農産品加工については、地域内の農産物を中心に先進設備によるカット加工、冷凍加工や、酒造会社向けの加工品の製造を行っている。

直売所については、地産地消の浸透を目的としてレストランも併設し、消費者のニーズに応える店づくりに努めている。

農業経営については、2法人で自社工場加工原料向け等の露地野菜や水田（合計で約147ha）及び茶（約150ha）の栽培に取り組んでいる。栽培した茶葉は農協直営の工場加工し、大手飲料会社等に出荷している。

## ・農協（子会社）による農業経営参入の意義

耕作放棄地対策、地域農業の振興（伝統ある茶の生産の復活）等には一定の成果を挙げている。農協に対する組合員の信頼もあり、農地を借

受けやすい一方で、条件不利地の引受けや圃場の分散による生産性向上の限界等の課題があり、現行の体制では、これ以上の農地引受けは難しいとのことであった。

条件の良い農地を巡っては、地域の農業生産法人や企業等の農外からの参入者との競合が発生しているとのことだった。

- ・農地の面的集積について

農業経営における最大のコスト削減は農地集約と認識はしているが、農業が盛んな地域ゆえに平地には担い手が多く、農地の面的集積が困難な状況となっており、多様な農業者間での調整が課題とのことであった。

## (2) 有限会社新福青果

### ○企業農業化の取組みについて

- ・経緯

何十年もかけて得られた農業経営の経験や勘を若い人がまた何十年もかけて習得するのでは、事業としてのリスクが大きすぎる等の問題意識から、ITを活用し、経験や勘の数値化・可視化や、コストの見える化等に取り組んできた。

25年前、生産者の努力が反映されない共同計算に疑問を感じ、それ以来、農協から離れ、独自の販路拡大、資金調達に取り組んできたとのこと。共同購入・共同販売という農協の共同組合精神は評価するが、事業という経済活動においては、組合員の規模の違いにもっと対応する必要があるのではないかとの意見があった。

現在、農業生産法人として、直営農場345箇所、従業員72名（グループ会社含む）まで規模を拡大。

### ○現在の課題について

- ・農地法の規制

これまで、取引拡大やIT導入等を契機に農外企業からの出資を受け入れてきており、更に外部から人材や資金を調達し、将来的には上場を果たしたいが、農地法の農業生産法人の要件が壁になっているとのことであった。農業生産法人については、農地法上、農業関係者が総議決権

の4分の3以上を占めること（資本要件）、株式会社にあつては公開会社でないこと等が要件として定められているが、これらの要件を見直し、農業者にも上場の道を開かないと、自分達の次の世代もその壁の前で成長が止まってしまうとの意見があつた。

#### ○農地集積について

##### ・農地の面的集積について

管理する農場は345箇所分散し、コスト削減の大きな支障となつているため、宮崎県内の他の地域でまとめた農地を借りたとのことであつた。相続による不在地主の増加も農地の集約の障害となつており、農地中間管理機構による農地集積・集約には期待しているが、都城周辺は農業が盛んで、肥え具合等の農地の特性を農業者が熟知しているため、単純に面積で交換できる状態ではないとのことであつた。農地中間管理機構や農業委員会等の関係者が、地域の農業の全体像を共有した上で、公平中立に農地集積を進めていく必要があるとの意見があつた。

##### ・JA出資型法人等との競合

農協子会社と農地を借りる際にバッティングが生じているとのことで、新福青果の農場と農協子会社の農場が混在している状況であつた。

以上

### 【JA子会社「(有)アグリセンター都城」が管理する茶畑】

茶畑は50地域、450枚に分散。



### 【(有)新福青果の農場】

農場は345箇所分散。システムで圃場毎に管理状況を把握し、コスト管理も行う。



### 【JA子会社「(株)協同商事」が運営する直売所】

青果や子会社で加工した冷凍野菜等を販売。



### 【(有)新福青果の農場】

道路左奥が新福青果の農場、手前がJA子会社の茶畑。周辺には他の法人の農場も混在している状況。

